

漆塗車

幸平等院御同車御車非尋常四面施翠簾左右有縁其下構短輪所謂四望車是也故入道相府車也  
〔榮花物語初花〕寛弘二年になりぬ略○中春日の使の少將通頼は中將になり給ひてことしの祭の使させ給ふ略○中ことしは此使のひゞきにて帥宮親王敦道花山院などわざと御車えたて、物を御覽じ御さじきの前あまたわたらせ給略○中花山院の御車は、きん漆などいふやうにぬらせ給へり網代の御くるまをすべてえもいはす作らせ給へりさはかうもすべかりけりと見えたり、

板車

〔西宮記臨時〕四板車  
上下通用近代無乘用之人或及種々車任意乘之

〔蛙抄車輿〕板車

古下賤之輩及武士等用之歟當時無之

筵張車

〔枕草子八〕いやしげなる物  
むしろ張の車のおうひ

〔枕草子六〕わびしげに見ゆる物

雨ふらぬ日はりむしろしたる車ふる日張りむしろせぬも

〔榮花物語浦五〕の別帥殿伊周略すぢなくていでさせ給ふに松ぎみいみじうまたひきこえさせ

給へばかしこくかまへてゐてかくしたてまつりて御車にかうも橘ごきひとつばかりをふく

ろにいれてむしろばりのくるまにのり給

荷車

〔類聚名義抄九〕輜ニクルマ ツムクルマ  
〔和漢三才圖會三十三〕輜ニクルマ 彼車 棧車 字又作輜 俗云大八牛車

輜説文載物之車直輜車也